

女性の権利と可能性を広げる
～3月8日は「国際女性の日」～

日本の男女格差114位

女性センター主催セミナー報告

職業体験 in 人権推進課
いずみさの女性センター

Fine

(No.43)

いずみさの男女共同参画つうしん

女性の権利と可能性を広げる ～3月8日は「国際女性の日」～

「国際女性の日」は、国連により1975年に定められました。女性たちが平和と安全、開発における役割の拡大、組織やコミュニティにおける地位向上などによって、どこまでその可能性を広げてきたかを確認すると同時に、今後、さらなる前進に向けて話し合う機会として設けた記念日です。

1908年3月8日、米国で女性たちが賃上げなどを求めてストライキをしたことが、この日付になった理由とされています。同じころ欧州でも、女性たちが参政権などを求め、声を上げ始めました。女性たちが多くの苦難を乗り越え、権利を勝ち取ってきたことをたたえる日でもあります。世界各地では、「ジェンダー平等」を訴え交流や催しが開催されます。

イタリアでは、3月8日は「ミモザの日」で、男性が女性に感謝の気持ちを込めてプレゼントを贈る日になっています。シーズンを迎える黄色い花「ミモザ」を男性から女性にプレゼントするのが習慣だそうです。日本でも少しずつこの風習が紹介され、3月8日にミモザの花を贈ることが広がっているそうです。



ミモザの花

「国際女性の日」に関わる主な出来事

- 1908年 3月8日、ニューヨークで女性労働者が労働条件の改善を訴えストライキ
- 1910年 コペンハーゲンでの会合で、女性の権利を求める運動に敬意を表し、女性の普通選挙権に対する支援を盛り上げるため国際的な性格を有する「女性の日」を制定。ただし、記念行事を行う具体的な月日は定められていない
- 1914年 欧州諸国で3月8日ごろに女性たちが戦争反対集会を開催
- 1917年 戦争が続く中、ロシアで女性たちが「パンと平和」を求め、抗議とストライキを決行。ロシア皇帝が退位し、暫定政府が女性に選挙権を承認
- 1945年 国連憲章採択。男女平等の原則を確認する初の国際的な合意
- 1975年 国際婦人年に当たるこの年、**国連が3月8日を「国際女性の日」と定める**
- 1995年 国連の世界女性会議で、女性の権利を守り、ジェンダー平等の推進をめざす「北京宣言および行動綱領」を採択
- 2016年 2030年までの達成に向け国際社会で取り組む「持続可能な開発目標(SDGs)」がスタート。「ジェンダー平等」は17項目のひとつ